204　　ベトナム戦争

第二次世界大戦後から1955年の南北分断固定化までの経過は№194で詳述した。アメリカ合衆国をアメリカと記す。

ＪＦＫはなぜ偉大なのか　　民主党　在任1961-63

1）1960年代のアメリカは確かに病んでいた。アメリカ社会は白人が中心の富裕層と黒人が中心の貧困層に分裂していたからだ。1960年代前半、ケネディー、ジョンソン（２人とも民主党）は、貧困問題の解決に取り組んだが成功せず、1960年代後半（ジョンソン、共和党のニクソンの時代）に対立が激化する。

2）ケネディー大統領（民主党）は、選挙スローガンでもあった「【1:　　】」政策を本格的に実施し、黒人が奴隷制度廃止後も、差別され貧困に追いやられてきた問題を解決しようとした。公民権運動の指導者キング牧師とも対話し、公民権法制定への道を開いたが、1963年11月、暗殺された。【2:　　】は1964年、ジョンソン大統領の時に制定された。

3）ケネディー大統領は、1962年の【3:　　】の際、ソ連のフルシチョフと渡り合い、核戦争の危機を回避しつつ、アメリカの国益を守った。

4）ケネディー大統領は、南ベトナムの政権（ベトナム共和国）を支援することで、ベトナム人自身に問題を解決させ２年以内にアメリカ軍を撤退させる方針だった。ところが、腐敗、堕落しきった【4:　　】政権は当事者能力に欠けていた。

　【4】政権のカトリック教徒優遇に反発した仏教徒らの反政府運動に対して、1963年戒厳令を布告、各地の寺を襲撃して僧たちを逮捕した。各地では抗議デモが頻発したが、僧侶ティック=クアン=ドックが抗議の焼身自殺をとげたことを弟のゴ=ディン=ヌー夫人のマダム・ヌーが、テレビカメラの前で「坊主のバーベキュー」と評したことが内外に報道され、反政府感情は一気に高まった。

5）1963年11月、いわゆる「南ベトナムクーデター」が起き、【4】政権は打倒された。これは当事者能力のある政府を必要とした「ケネディ政権公認？」のクーデタであったとされる。それは11月1日のことで、ケネディー暗殺は11月22日だから、暗殺はゴ=ディン=ディエムの祟りではないかと噂された。
この噂話で事件の順序を覚えてしまおう。これ以降混乱は続き、ズオン=バン=ミン軍事政権→グエン=カーン(1964)→グエン=カオ=キ(1965)→グエン=バン=チュー(1967)、など13回ものクーデタが起きた。

ベトナム戦争

1）アメリカは【5:　　】（共和党）大統領の時であるが、1960年に南ベトナムの武力解放を目指す【6:　　】が結成され、【4】政権との内戦が始まっていた。従って、内戦開始を重視すれば、ベトナム戦争の始期は1960年ということになる（一般には1965年が始期）。

2）南ベトナム解放民族戦線は、【7:　　】（いわゆる「北ベトナム」）の支援を受けて、南ベトナム各地でさかんにゲリラ戦を展開した。アメリカは、これを冷戦下における東側陣営からの武力による挑戦と見なした。もし、南ベトナムで社会主義革命を許せば、革命は東南アジア一帯に連鎖的に広まるという発想を「【8:　　】倒し理論」と呼ぶ。アメリカは「自由世界の防衛」のため、何としてもこれを阻止しようと行動した、と自ら記録している。

　南ベトナム解放民族戦線は、西側メディアではゴ=ディン=ジエムがその名付け親といわれる「ベトコン」（「ベトナムのアカ」という意味）という蔑称や「解放民族戦線」などと呼ばれたが、いずれも不正確である。「ベトコン」と書き続けてきた日本のメディアは、解放間近の1975年に入ると一転、全社一斉に「解放戦線」と改めた。

3）ケネディー大統領も、「ドミノ倒し理論」から自由ではなかったが、東側陣営との緊張をこれ以上高めるのは得策でないと考え、決して正規軍を投入することはしなかった。彼は、「軍事顧問団」の派遣と軍事物資の支援を増強したのみで、ベトナム人自身に問題を解決させようとした。ケネディー暗殺の３週間前に、前述のようにゴ=ディン=ディエム政権はクーデタで倒された。1963年である。

4）ケネディー暗殺で副大統領から昇格した【9:　　】大統領は、「偉大な社会」計画を提唱してケネディーの社会改革路線を継承し、1964年には、【10:　　】を制定した。

5）「軍事顧問団」の派遣、軍事物資の支援は充分な効果をあげなかったため、ジョンソン大統領は、ついに直接介入を決断した。1964年の【11:　　】※1をきっかけに、1965年、**北ベトナムへの空爆**（これを「【12:　　】と言う）と**地上軍投入**を開始し、軍事介入に踏み切った。一般には、この1965年が**ベトナム戦争の始期**（終期は1973年）とされている。68年には派遣されたアメリカ兵は50万人を越えた。

　※1 公海上の米艦を北ベトナムが攻撃したというトンキン湾事件は、事実ではなかったことが後日判明した。

ベトナム戦争そのもの

1）ベトナム戦争の構造

ベトナム民主共和国軍　＋　南ベトナム解放民族戦線　vs	**アメリカ軍　＋　サイゴン政権**
ベトナム国民の圧倒的支持あり。	アメリカの若者が反戦運動に参加。
中国、ソ連は対立しつつ、それぞれ物的援助（兵器）をした。	徴兵拒否運動。
世界中の国で【13:　　】起きる。	アメリカ国内の反戦運動活発。
サイゴン政権高官にまで情報網を持つ。	反戦運動は、**公民権運動**と結びつく。
日本発の**核兵器反対の国際世論**が世界中に広まる。	実質的に**核兵器は使用不能！**

2）《ベトナム戦争の特徴》人類が今まで経験しなかったタイプの戦争である。
①アリと巨象の戦争　当時のベトナムは世界最貧国の一つ。アメリカと戦争すること自体、本来不可能。
②裸足の兵隊と最新電子兵装との戦い　アメリカは最新のハイテク兵器を投入した。例：スマート爆弾
　解放勢力はトンネルを掘り、敵から奪った銃器や竹製の武器などローテクをジャングル戦に生かす。
③精神と物量の戦い　指導者ホー=チ=ミンを信頼する無数の兵士と人民の精神力は拷問にも屈しない。

アメリカ兵は戦いの意義に確信を持てず、ジャングルに潜む見えない敵に怯え、薬物に走る者もいた。

④**テレビで中継された初めての戦争**　湿式フィルムやビデオ録画中継により世界中のテレビで報道された。**解放戦線兵士を路上で処刑する動画**は世界中に配信され大きな衝撃を与えた。サイゴン警察が捕虜として捕らえた南ベトナム解放民族戦線の兵士グエン=ヴァン=レム（阮文歛）を、グエン=ゴク=ロアンが路上で射殺する写真と動画は世界中に拡散され、国際世論に大きな影響を与え、アメリカ国民にも自分たちが立っているのは本当に正義の立ち場なのかという動揺を与えた。

《蛇足》毎日学校から帰って夕食時に見るニュース映像の大半はベトナムの戦場、こんなのを見て育ったらどんな大人になるかと心配された子どもたち（著者の世代）は、ごめんなさい、こんな大人になっちゃいました！

⑤人類史上はじめて「**環境兵器**」が大規模に使われた。深いジャングルの中を通る海外からの物資支援ルート「ホー=チ=ミンルート」を寸断するためにジャングルを裸にする**枯れ葉剤**。これを主因として、散布地域のベトナムの人々の子、散布したアメリカ兵の子に深刻な先天異常が現れたという説も有力である。

⑥アメリカが史上初めて、ハッキリと敗北した。アメリカはここからどんな教訓を得ただろう？

3）ベトナム戦争の最激戦期（1965-68）のほとんど全期間、アメリカ大統領は**ジョンソン**だった。

1968年、南ベトナム解放民族戦線の**テト攻勢**の後、ジョンソンは自身の大統領選不出馬と**北爆停止**を宣言し、【14:　　】が開始された。

ベトナム戦争の残務処理（ドル危機も）をしたのは【15:　　】**大統領**（共和党 任1969-1974）である。地上兵力を南ベトナム政府軍にゆだね、アメリカ軍の犠牲を軽減するニクソン=ドクトリンを打ち出し、1972年には中華人民共和国を訪問し国交樹立に道を開き、外交と内政で大きな成果をおさめた有能な大統領だったが、1972年6月に起きた政敵、民主党全国委員会本部への不法侵入・盗聴事件、いわゆる「ウォーターゲート事件」で、アメリカ史上初めての大統領任期中の辞任という不名誉な状況に追い込まれた。

1973年１月、【16:　　】が締結され、1973年３月、アメリカ軍撤退。これをもってベトナム戦争の終期と考える。

4）しかし、その後も内戦は継続され、1975年、【17:　　】陥落によって、最終的に戦争は終わった。当時のアメリカ大統領は【18:　　】（共和党 任1974-77）。1976年、南北を統一して【19:　　】成立

《補足》サイゴン陥落直前、解放勢力による報復を恐れて我先に脱出をはかろうと米軍ヘリに群がるサイゴン政権関係者の姿が動画で残っている。沖合のアメリカ空母に何度も往復して輸送するが、ヘリの駐機スペースがなく、１機数億のヘリを海に投棄する様が印象的である。

《蛇足》サイゴン陥落を背景にしたロンドンのウエストエンド発（1989）のミュージカル『ミス･サイゴン』は、アメリカのブロードウェイでも再演。1992年、日本でも上演された。帝国劇場の檜舞台で１年半のロングランに主演したのはアイドルから本格的ミュージカル女優に成長した本田美奈子. さん。急性骨髄性白血病のため、2005年惜しくも逝去。享年38歳。彼女が歌う『いのちをあげよう』は YouTube などで試聴できる。

ベトナム戦争の影響

1）「ベトナム戦争後遺症」をアメリカ社会に残した。

①莫大な戦費と福祉予算で財政難をきたした。‥‥軍事産業偏重により、自動車、家電で日本に完敗。

②超大国アメリカが敗北したことからくる自信喪失‥‥‥後掲(2)へ

③深刻なドラッグ汚染　　見えない敵と戦うジャングル戦の恐怖から薬物を覚えた兵士が帰還後も‥。

④ベトナム帰還兵に戦争体験の後遺症と思われる精神障害がみられ、1980年にアメリカ精神医学会の診断マニュアルに PTSD（post traumaticstress disorders 心的外傷後ストレス障害）の病名が加えられた。

自然災害や戦争、交通事故、誘拐、監禁、性的虐待などで被害を受けたり、身近な人の死をまのあたりにするといった体験をすると、人間は耐えがたい強烈なショック（心的外傷＝トラウマ）を受ける。それによるストレスが原因で心身に障害が起るので「心的外傷後ストレス障害」または「外傷後ストレス障害」という。**ちょっとしたきっかけで、PTSDの原因となった危機的状況を、まるでその場にいるように心の中に再生しパニック状態に陥る。**日常的にも不眠、倦怠感、まったくやる気がでない、などの重大な症状が出て社会参加が難しくなる。

2）「**カウンターカルチャー**」の動き　　従来の価値観や欧米中心の考え方に対する批判が顕在化する。

①1962年デビューのビートルズ　　（ほとんどの公立高校文化祭では60年代はエレキ禁止だった！）

②1969年の**ウッドストック音楽祭**に象徴されるヒッピーカルチャー。**大学紛争**も起き、日本にも波及。一部の高校にも。

③黒人やマイノリティー（人種的少数派）の運動も活発化。　　映画 West Side Story は1961年制作

④多文化主義の動き‥‥白人中心主義の変更をうながす　　映画 Easy Rider　は1969年制作

⑤女性解放運動、住民運動も発展した。

カンボジア・ラオス

1）カンボジア

王政が続いていたが、1970年、国王の【20:　　】外遊中に親米右派のロン=ノルがクーデタを起こし、シハヌークは中国に亡命。このロン=ノル政権と親中国派の急進左派【21:　　】に率いられた赤色クメールなど解放勢力との内戦が続いた。1975年に解放勢力が勝利して民主カンプチア（民主カンボジア）が成立した。これがいわゆるポル=ポト政権である。1979年に打倒され、ヘン=サムリン政権が成立する。詳細は№214参照。

2）ラオス

60年代前半から、フランス連合内での独立を認められたラオス王国とフランスからの完全独立をめざすラオス愛国戦線（パテト=ラオ）とが内戦状態だった。愛国戦線が勝利し、1975年、ラオス人民民主主義共和国が成立した。